



国立大学法人

静岡大学 大学文書資料室

大学文書資料室 かわら版

歴史に学び、未来を創る

2023年9月
創刊号

大学文書資料室かわら版を発行します

大学文書資料室は、2013年4月広報室の下に設置され、これまで大学内外の本学に関わる歴史資料の保存、管理、公開等を行ってきました。

このたび、皆様に大学文書資料室をより身近に感じてもらえるよう、定期的にかわら版を発行する運びとなりました。

本学学生、卒業生、教職員といった構成員には、本学の歴史に立ち返り、現時点の在り方を再確認する契機となるよう、また地域の皆様方には歴史を通じて地域に根付いた知の拠点である静岡大学の魅力を感じていただける場所として、情報発信に努めていきたいと考えます。

大学文書資料室の紹介

大学文書資料室は理学部B棟1階のエントランスにあります。

週2回程度開室しており、これまで収集した資料の展示等を行っています。

開室時間等の案内は、大学文書資料室HPをご確認ください。

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/archives/>



山本義彦 名誉教授の解説も聞けますよ!



大学文書資料室 展示について

大学文書資料室は、2021年度、キャンパスミュージアムのウェルカムエリア構想プロジェクトに参加し、展示室をリニューアルしました。常設展示コーナーを全面的に見直し、新たに本学の沿革図や歴史年表を作成、中央には、旧制静岡高等学校のジオラマや同時代の教卓を増設するなど、展示品の充実を図り、そのほか、歴史解説とあわせて写真や文献等を多用したデジタル資料も作成しました。

大学文書資料室 業務紹介

雄萠寮図書室の資料等整理業務

2024年3月をもって旧制静岡高等学校以来の長い歴史に幕を下ろす静岡大学男子寮「雄萠寮」。ここには、学生運動等の関係資料が寮内図書室に多数保存されています。大学文書資料室では現在、人文社会科学部教員と協力し本学の歴史資料として整理業務等を行っています。

大学文書資料室では静岡大学の歴史に関する法人文書、その他の記録等の保存等に関する業務を行っています。

ここでは、2022年度の業務一例を紹介します。



作業の様子 ▲

雄萠寮図書室 ▼



資料を丁寧に選別、保存整理しています。



高等教育局長が訪問されました



本学の沿革について
説明を受ける
池田高等教育局長(左)

6月22日、池田貴城文部科学省高等教育局長が同日開催の静岡大学グローバル共創科学部創設式典への出席に先立ち、大学文書資料室を視察されました。山本義彦静岡大学名誉教授から本学の沿革や、設立に係る文書等を中心に各展示物の説明を受け、意見交換を行いました。池田高等教育局長は多くの展示物に関心を寄せられ、特に旧制静岡高等学校のジオラマについては熱心にご質問される様子が伺えました。

山本義彦 静岡大学 名誉教授

コ | ラ | ム

1922年創立の旧制高等学校、旧制浜松高等工業学校が母体となり、これに1875年創立の旧制師範学校が加わって、1949年発足した静岡大学は100年を優に超える高等教育関係資料が残されてきました。これらは1999年の創立50周年、その後の10年ごとの大学史記録にも反映されてきましたが、日々累積する大学の歴史的となるべき資料の集約と保存、公開は大学の使命と考えて、2013年、大学文書資料室が設置されました。何事も人々が作り出す施設には歴史があり、これに謙虚に学んでこそ、未来への指針が示されるものと考えます。そして構成員である教職員、学生がこれによって共有すべき価値を広く知り、社会の人々にその理解を深めていただくことは重要です。大学文書資料室は今後ともこれに寄与するべく努めたいと考えます。



国立大学法人

静岡大学 大学文書資料室

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/archives/>

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

TEL : 054-238-3623

archives@adb.shizuoka.ac.jp

ご来場お待ちしております!

